



WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長)有我 信行 (副会長)細田 新子 (幹事)神原 一久
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 受付時間: 火・水・木 10:00~16:00
 HP <http://www.toshimah-rc.jp> E-mail info@toshimah-rc.jp

第1554 回例会 2020年4月1日 中止

前回第1553回例会報告 2020年3月18日

新型コロナウイルス対策により中止

4月のお祝い

【会員の誕生日】

細田 新子会員 1日

【夫人・夫君の誕生日】

村上 靖子夫人 25日

【結婚記念日】

浅原 英明・洋子ご夫妻 4日

渡邊 裕之・孝子ご夫妻 8日

塩崎 亨・澄子ご夫妻 15日

新倉 康榮・美代ご夫妻 29日



30年間皆出席

前川昭一会員

21年間皆出席

稲川 一会員

1年間皆出席

佐藤久雄会員

会長報告

1. 4月度例会中止のお知らせ

会員の皆様からの貴重なご意見を参考にさせていただいた結果、会員と会員家族の命と健康を守る事がクラブ運営の第一義と考え、誠に残念ですが、4月1日ならびに8日の例会は中止せざるを得ない状況にあるとの結論に至りました。何卒ご理解ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

尚、ホームミーティングも中止とさせていただきます。

2. RI 会長より、2020年ロータリー国際大会中止のメッセージが来ております。

ロータリアン、ローターアクター、
ロータリー支援者の皆さま

平素より大変お世話になっております。

この度、RI 理事会は、米国ハワイ州ホノルルで予定されていた2020年ロータリー国際大会を中止することを決定いたしました。私たちは皆ロータリーファミリーの一員であり、皆さまの安全がロータリーにとって最優先事項とな

ります。今年の大会への出席を予定していた20,000人以上の登録者の皆さまと同様、私も非常に落胆しております。しかし、大会出席者と地元ホノルルの方々の安全を守るため、大会中止は適切かつ必要な決断です。

現時点で、国際大会への渡航、大会中、大会後において、参加者の皆さまを新型コロナウイルス (COVID-19) のリスクから適切に守ることができるか不確定な状況です。また、6月時点で米国への渡航状況がどのようになるかも不明確です。多くの方々から、今年の国際大会で大勢の人が集うことについて懸念の声が寄せられました。それと同時に、予定通りに国際大会を実施してほしいという希望の声も聞かれました。理事会は、今回の決定を下すにあたり、あらゆる側面を非常に注意深く考慮しました。

(中略)

国際大会は、私たちがロータリーでの活動における意欲を高め、お互いから学びあい、成長するためのインスピレーションを高める機会となってきました。今こそ、革新的な方法で「ロータリーは世界をつなぐ」を体現する時だと感じています。今までよりもさらに焦点を定め、地元で行う活動を強化していきましょう。ロータリーの基本である「つながり」には、大きな力と可能性が秘められていることを私たちは知っています。特に、支援を必要とする人たち、孤立や恐怖心にさいなまれた人たちに支援の手を差し伸べるとき、まさにこれが顕著となります。私たちが活用できるすべてのテクノロジーと専門知識を生かし、大規模なプロジェクトで継続して協力していきましょう。

(中略)

この度の非常事態を共に乗り越え、次回皆さまとお会いする際には、ロータリーの活動、ロータリーでの経験、そしてロータリーを通じて築いてきた多くのつながりを、より深く感じることができると確信しています。今回の困難な決断へのご理解を賜りますよう、何卒お願いいたします。今後のことについては、できるだけ早く決定してまいります。ご存じの通り、ロータリー会員と職員は、難しい状況の中で日々の業務を行っております。今後も行動人として活動し、世界でよいことを継続していくにあたり、どうぞ安全に気を付けてお過ごしください。

心を込めて

2019-20年度国際ロータリー会長

マーク・ダニエル・マローニー

3. 新会員御紹介

4月1日付けにて以下の新会員が入会されました。よろしくお願ひ致します。(50音順)

- ・王 登賢会員 職業分類：マーケットコンサル
(紹介者：廣内会員・INDEX 台北東海)
- ・武内 潔会員 職業分類：鍼灸師
(紹介者：浅原会員・有我会員)
- ・土屋 真弓会員 職業分類：産婦人科医
(紹介者：佐藤美会員・有我会員)

4. 台北東海ロータリークラブ創立25周年記念誌へ祝辞を寄稿しました。

「友好クラブ会長祝辞」

親愛なる台北東海ロータリークラブの皆さん、創立25周年おめでとうございます。

貴クラブとは創立翌年の1996年2月21日に、当時会長の徐重仁氏と2580地区パストガバナー当クラブ元会長の前川昭一氏のご指導の下、台湾と日本の両国の更なる友好親善と世界平和の進展のために「友好クラブの絆」が結ばれました。その後、両クラブは頻りに相互訪問親善を重ね、またクラブ会員個人間も積極的な交流と奉仕活動が行われ、今や家族の一員と感じるほどの親密な友好関係が築かれております。

私も貴クラブに魅了され毎年のようにクラブ訪問をさせていただいております。私は貴クラブを世界屈指の模範的なロータリークラブであると尊敬

しております。皆様のロータリアンとしての姿勢と卓越した行動力は、常に私のロータリアン活動の規範であり精神的支柱となっております。日本人でありながら皆様からお教へいただくまで知らなかった「日本精神」を胸に、日々のロータリー活動に邁進して参ります。

台湾国の皆様の思慮深く創造性豊かに民主的な生活と素晴らしい文化を知ることが出来、私の人生を豊かなものに導いてくださったのは台北東海ロータリークラブの皆様です。素晴らしい皆様の先見性のある発想と卓越した行動力で、新しい時代の豊かな文化を創造し、社会から求められるリーダーとして、貴クラブはますます支持を集め隆盛されるものと確信しております。

これからも引き続き当クラブとの交流を深めいただき、台湾日本両国の文化経済発展と両国民の幸せを実現し、世界平和の模範となるような友好クラブ親善奉仕活動を続けて参りたいと切望しております。

台北東海ロータリークラブのますますのご発展と、クラブ会員ご家族の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。本日は誠にありがとうございます。

2020年4月吉日

国際ロータリー第2580地区

東京豊島東ロータリークラブ 会長 有我 信行

クラブ研修セミナー（新入会員向）

3月25日（水）12時半より ホテルメトロポリタン2F 龍虎（桂林内）にて、クラブ研修セミナーが行われました。新型コロナウイルス感染予防のため、会場の席配置には余裕を持たせるなど、配慮の上進行いたしました。

- 進行次第
- ①有我会長挨拶
 - ②新会員紹介&ロータリー資料授与
(王登賢会員・土屋真弓会員・武内潔会員)
 - ③昼食開始
 - ④新入会員研修セミナー
 - ⑤質疑応答



王登賢新会員



土屋真弓新会員

出席者は、有我会長、細田副会長、佐藤（美）SAA 委員長、廣内国際奉仕委員長、樺田社会奉仕委員長、佐藤（久）会員、里見会員、王会員、土屋会員以上9名で行われました。



青少年交換派遣学生 砂川 丞君無事帰国

現在タイのウドーンターニーへ派遣中の砂川丞君が、新型コロナウイルス感染予防のため、急遽帰国することとなりました。当初3月27日の予定でしたが、タイでも新型コロナウイルスが蔓延しつつあることから、帰国をさらに早め、25日朝、無事日本へ帰国しました。渡邊青少年奉仕委員長が砂川君・ご家族と密に連絡を取り安心安全に帰国する事ができました。



錦華学院へ小学校入学児用学習机（3組）を寄贈

去る3月26日午前、桜満開の錦華学院へ小学校入学時学用品を寄贈して来ました。

新入会員の王登賢さんにも積極的に参加していただき、贈呈後、土田院長様から学院の現状についてお話を伺いました。

帰路立ち寄った喫茶店で、土田院長に伺った錦華学院の現状を再認識しました。

また、新入会員王さんの群馬県内でのご活躍や、海外で活躍されている息子さん4人のお話を伺い、親交を温めることができました。



◎当日の訪問者

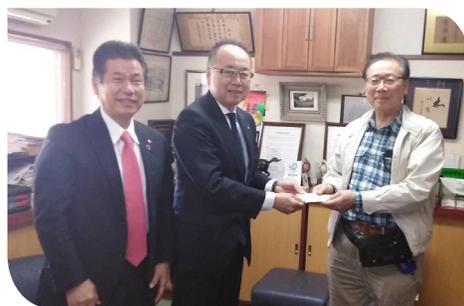
有我信行会長、榎田隆治社会奉仕委員長、王登賢会員（新入会員）（3名）

◎寄贈品

小学校入学児童用の学習机：3組（5万円相当）

◎土田院長様から学院の状況について

- ・卒業生や親御さんへ児童を送り出し、それと同時に新たに受入れが有り多忙です。
- ・学院の定員（約50名）一杯受け入れているが、入居待機児童が児童相談所の一時待機施設にも溢れている状況。



知ってください里親制度

東京都には様々な事情で、家族から離れて暮らす0歳～18歳までの子どもが約4000人。そのうち、里親家庭にいるのはわずか1割強で、約9割は児童養護施設や乳児院などの施設で生活しています。

里親の種類

里親制度は、家庭を必要とする子どもたちを社会で育む子どもの幸せのための制度です。

養育家庭（里親）

様々な事情により家族と暮らせない0歳～18歳までの子どもを、養子縁組は目的とせずに、一定期間、自分の家庭で養育する里親

- 25歳以上 65歳未満の夫婦
- 夫婦でない場合、子育て経験や一定の資格があり20歳以上の大人が同居していること
- 台所、居間以外に2室あり、その2室を合わせた広さが10畳以上あること

養子縁組里親

養子縁組を目的として、養子縁組が成立するまでの間、里親として子どもを養育していただく家庭

- 25歳以上 50歳未満の夫婦
- 6歳未満の子どもが対象

★約半年間の試験養育を経て、家庭裁判所へ申立てをして、養子縁組が成立すると、戸籍に「長女」「長男」などと記載されます。

親族里親

実親が死亡、行方不明などにより養育できない場合に、祖父母などの親族が子どもを養育する里親

養育家庭（里親）に子どもが委託されると…

- ・養育費として、子どもの生活費、教育費、里親手当が支給されます。健康保険の範囲では医療費はかかりません。
- ・児童相談所などの職員がチームでサポートします。
- ・一時的に子どもを預けるなど子育てを支えるサービスがあります。
- ・里親同士が交流する機会があります。
- ・子どもの状況により、子どもと実家族との交流がある場合もあります。

・児童養護施設の増設議論もあるが、東京都では里親制度を充実させて、児童養護の将来的な在り方とする方向のようだ。

・先般2回に亘って行われた女生徒向けの思春期セミナーが好評だったので、男子生徒向けのセミナーも実施して欲しい。

←「ロータリーの友」にこの奉仕活動が掲載され、男子生徒向けのセミナーについて、アドバイスしていただけるロータリアンを求めたので、その情報が得られたら男子向けセミナーも計画したい、と回答しました。

【グローバル補助金奨学生 瀬戸口和子さん活動報告】

ロータリー財団委員会



ロータリー財団グローバル補助金奨学生から活動報告をいただきました。

(ロータリー財団委員長：榎田隆治)

2019年8月に渡英して、現在サセックス大学に留学している瀬戸口和子さんから、研究生生活と留学国（英国）のホストクラブ Rotary Club of Lewes との交流について、隔月に報告されています。

今回（3月）の報告では、瀬戸口さんは風邪もひかずお元気に活躍されており、大学での勉学に当たっては、世界中に拡散している新型コロナウイルス感染防止への対応からオンラインによる授業が行われているとのことでした。

1月末からの第2学期は、①教育政策の構築・評価、②教育統計分析の授業を履修しております。修士論文のテーマとして「教師が持つ文化的資本（知識等）の提供が、社会的階級の高い学生にのみ行われており、学校現場において教育の不平等が生じている」ことについて統計的手法を用いながら研究もしていく予定を立てています。

ロータリー関係の活動は、ホストクラブに大変良くしてもらい、ロータリーの素晴らしさに感謝されています。しかし、新型コロナウイルスの影響で昨年末のクリスマス参加を最後に当面の活動が延期・中止となっていて、直近では4月以降に自身の研究内容についてのプレゼンテーションが予定されているとのことでした。

また、新型コロナウイルスの感染防止のために帰国するかどうかについては、日本のガバナー事務所からも心配されるメールをいただきましたが、①帰国する際に交通機関での感染リスクがあること、②帰宅した場合両親や近隣高齢者への感染リスクが高まること、③現在居住（大学の寮）の環境が良好なこと、から引き続き英国に留まって健康に留意した上で、研究目標の達成に向けて勉強したいと、ご自身のお考えをガバナー事務所と当クラブへ伝えてきました。

医療現場からは、すべての資源が不足し、ヒトからヒトへあっという間に飛んで感染する生々しい情報が寄せられています。不要不急の外出自粛要請を重く受け止めなければならない状況で、瀬戸口さんの感染防止と留学目的の達成に対する並々ならぬ決意に敬意を表したいと存じます。

